	平成 28 年 2 月 18 日 (2016 年)
吹田市長	あて
	住所 大阪市北区中崎西2丁目4番12号
	※注1 株式会社コスモスイニシア 西日本支社 の
	事業所 支社長高智・売大朗
	電話 (06) 6292 — 7272
 事業の名称	イニシア桃山台
事業の名称 対象事業区域	カーンアが出口 吹田市 春日4丁目21番1
※注1	住 所 大阪市西区西本町1丁目4番1号 オリックス本町ビル5F 株式会社IAO竹田設計
設計・代理者	氏 名 大阪第一事務所 矢川 修宏
	電話() 一 (担当者:)
※注1	住 所 大阪市中央区博労町2丁目2番13号
┃ ┃ エ 事 施 エ 者	大豊建設株式会社 大阪支店
	常務執行役員支店長 佐久間 崇
	電 話 (06) 6105 — 0160
 事業予定期間	平成 26 年 (2014 年) 11 月 2 日 から
	平成 28 年 (2016 年) 2 月 23 日 まで
	計画部分 既存部分 合 計
	対象事業面積 5,298.44 ㎡ 5,298.44 ㎡
	建築面積 2,559.70 ㎡ ㎡ 2,559.70 ㎡
事業の規模	延べ面積 11,514.03 m n 11,514.03 m
	最高の高さ 21.19 m
	株筋コンクリート 造・一部 構造・階数
	地上 7 階・地下 階
	区分 ☑ 新 築 □ 増 築 □ 改 築 □ 新 設 □ 増 設 □ □ 増 設 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業
	□ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的:)
* * * * D !!	☑ 建築物の新築又は増改築の事業
事業の目的・内容	□ 工場·事業場 □ 住宅·共同住宅(129 戸)
	□□ 商 業 施 設 □事 務 所 □公共的建築物
	し
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 受 付
	□ その他 ()
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる
+	・ガイドライン取組事項チェックリスト
添 付 書 類 	・工事関連車輌通行ルート図
Ī	・・その他必要と認める図書 ┃ 第 号

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

資源消費・環境負荷・廃棄物の削減と自然環境との共生(健康・快適性への配慮)に資する持続可能な都市と建築空間の創造・維持管理により、健康で安全な都市環境の実現に努めます。

当該事業における 環境まちづくり方針 の景観などにも貢献します。

実施した・一部実施したの項目数

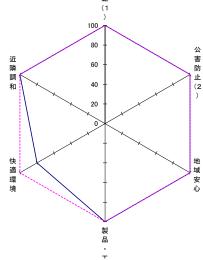
1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率 98 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て) 該当なしを除いた項目数 49 50

---:方針, --: 実施報告書



実	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
施報告書	20	13	4	3	4	5
書	20	13	4	3	5	5
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方針	20	14	5	3	5	5
針	20	14	5	3	5	5

主な実施内容

- ・建設機械及び工事車両は排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。 ・建設機械の機械類は適切に整備点検を行いました。 ・工事車両は周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

- ・工事関連車両を場外に待機させませんでした。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 78.7 パーセント

実施した・一部実施したの項目数

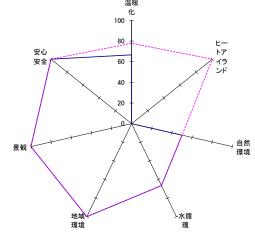
26

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

33





実施	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
加報告	6	0	2	2	9	4	3
書	9	1	4	3	9	4	3
			'	'	> '		I

		1 1		L			I
	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方	7	1	2	2	11	4	3
針	9	1	4	3	11	4	3

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

93.9 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

省エネルギー対策等級3を取得しました。専用部及び共用部の一部にLED照明を採用しました(2016台)。

(2)緑地面積

緑化率

25.2 %

条例基準分

25.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用

雨水貯留量

266.0 t

うち雨水利用量

0.0 t

利用目的

【□植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

- (4)上記以外の主な実施内容
 - ・事業区域の面積に応じて雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施設を設置しました。
 - ・ゴミ置場を出来るだけ敷地の中央部に配置し、周辺に配慮した計画としました。
 - ・景観まちづくり計画の目標と方針に基づき計画・設計を行いました。
 - ・屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。

環境まちづくりの概要(3) 2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
76、77	一部実施する	実施する
21	実施する	一部実施する
31、42、88	実施する	該当なし
89	一部実施する	該当なし
50、64	実施する	実施しない
65	一部実施する	実施しない

3. その他	その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)				

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実施内容(実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
	☑ 実施した□ 実施しない□ 該当なし	低排出ガス対策型、低騒音、低振動型の建設機械を使用しました。
低燃費型建設機械の使用	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	低燃費型の建設機械を一部使用しました。
アイドリングの禁止	□ 実施した □ 一部実施した	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
環境に配慮した運転	☑ 実施した □ 一部実施した	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
稼動台数の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。 た。
工事の平準化	☑ 実施した □ 一部実施した	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
機械類の整備点検	☑ 実施した □ 一部実施した	機械類は適切に整備点検を行いました。
関連車両 		
低公害車の使用	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しました。 た。
工事関連車両の表示	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	工事関連車両の走行ルートは、周辺道路の状況、住居の立地状況な どに配慮し、時間帯については周辺環境に合わせできる限り配慮致し ました。
建設資材の搬出入における車両台数の抑制	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台 数を抑制しました。
工事関連車両台数の抑制	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数をできる限り抑制しました。
土砂の積み降ろし時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の 飛散防止にできる限り配慮しました。
タイヤ洗浄	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いま した。
	5染や騒音などの公害の防止します。機械 低公害型建設機械の使用 アイドリングの禁止 環境に配慮した運転 稼動台数の抑制 エ事の平準化 機械類の整備点検 関連車両 低公害車の使用 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守 エ事関連車両の表示	操校

	取 組 事 項	実施の有無	実施内容(実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)		
16	ドラム洗浄時の配慮	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮しました。		
17	場外待機の禁止	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。		
18	クラクションの使用抑制	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。		
19	アイドリングの禁止	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。		
20	環境に配慮した運転	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。		
工事方	 法 振動等				
	防音シートなどの設置	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルの設置について、工事施工計画作成時に前向きに検討し、隣地取合いについては防音シートを一部使用しました。		
22	丁寧な作業	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。		
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。		
24	近隣への作業時間帯の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	騒音・振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。8:00~18:30としました。		
粉じん	・・アスベスト				
25	解体、掘削作業の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。解体作業はありませんでした。		
26	飛散防止対策	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	土砂等が露出している場合の対応についてシートで覆う等の方法を工 事施工計画作成時に検討し、シートで覆いました。		
27	アスベストの調査など	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	埋立地ですのでアスベストはありませんでした。		
28	アスベストの飛散防止措置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	埋立地ですのでアスベストはありませんでした。		
水質	水質汚濁·土壌汚染·地盤沈下				
29	濁水や土砂の流出防止	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。		
30	塗料などの適正管理及び処分	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分しました。		
31	土壌汚染物資の拡散防止措置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	法令に基づく地歴調査の結果、汚染の恐れは有りませんでした。		

	取 組 事 項	実施の有無	実施内容(実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム 溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☑ 実施した □ 一部実施した	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭•	廃棄物		
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対 策を行いました。
35	現地焼却の禁止	☑ 実施した □ 一部実施した	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
36	解体時の環境汚染対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	解体する建物はありませんでした。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策	☑ 実施した □ 一部実施した	仮設トイレを設置し、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭 気対策を行いました。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	地域との連携における事故の防止	☑ 実施した □ 一部実施した	十分な人数の警備員の配置をし事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	夜間・休日に関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を 施錠するなどの対策を講じ、仮囲いに扉を設置し施錠しました。
41	児童などへの見守り、声かけ		登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取り組みました。
42	地域の防犯活動への参加	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	地域の防犯活動は行われていませんでした。
環境に	配慮した製品及び工法を採用します。		
省エネ	ドルギー		
43	エネルギー消費の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	省エネルギー効率のよい機器の導入等により、工事中に使用する燃料、電気及び水道水等の消費を抑制しました。
省資源	Ā		
44	残土発生の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
45	廃棄物の減量	□ 実施した □ 一部実施した	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)		
快適な 景観	₹環境づくりに貢献します。				
46	仮囲い設置時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 しました。		
47	仮設トイレ設置時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。		
周辺の	の環境美化				
48	周辺道路の清掃	☑ 実施した □ 一部実施した	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いま した。		
49	場内整理	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。		
ヒート	アイランド現象の緩和				
50	打ち水	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	工事計画上敷地内にスペースがなく、水道水以外の用水確保が困難で ある為行いませんでした。		
地域と	:の調和を図ります。				
工事語	说明·苦情対応				
51	工事内容の事前説明及び周知	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また 工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにしました。		
52	苦情対応	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示し、苦情が発生した際には真摯に対応しました。		
周辺の	D教育・医療・福祉施設への配慮				
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	□ 実施した □ 一部実施した	南千里中学校に対して工事実施前に工事概要、作業工程などを十分 説明し、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にしました。		
54	騒音、振動などの配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	南千里中学校に対して騒音・振動などに配慮しました。		
周辺の	周辺の事業者との調整				
55	複合的な環境影響の抑制	□ 実施した □ 一部実施した	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整しました。		

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温	温暖化対策を行います。		
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用	□ 実施しない □ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう 努め、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物 などに表示しました。(CASBEE B+)
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	専用部及び、共用部分の大半にLED照明を採用しました。(2016台)
58	再生可能エネルギーの活用	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	太陽光パネルの設置については事業予算もあり今回は設置しませんで した。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入 の検討	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネレーション、ヒートポンプ システムなどの導入については、事業収支上、採用が不可能である 為、実施しませんせした。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☑ 実施した □ 一部実施した	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設計に配慮しました。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。省エネルギー対策等級3を取得しました。
62	長寿命な建築物の施工	□ 実施しない □ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
63	環境に配慮した製品の採用	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	節水型便器を採用しました。(130台)
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	高炉セメント等、製造に要するエネルギーが少ない建設資材等を積極 的に採用するよう、工事施工計画作成時に前向きに検討しましたが、高 炉セメントについては、採用できる箇所が無い為採用しませんでした。
ヒート			
65	ヒートアイランド対策	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	外構舗装材に保水率の高いものを採用するよう施工検討しましたが事業予算もあり今回は設置しませんでした。
自然環			
66	動植物の生息や生育への配慮	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	できる限り植生環境に配慮した植栽計画としました。
67	地域のシンボルツリーの保全	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	埋立地ですので既存樹木はありません。
68	既存の植生の保全	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	埋立地ですので既存植生はありません。
69	生物の生息空間の保全	□ 実施した□ 一部実施した□ 実施しない□ 該当なし	埋立地ですので生息空間はありません。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
70	駐車場緑化	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	駐車場の緑化については事業予算もあり今回は行いませんでした。
71	屋上緑化など	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	屋上の緑化については事業予算もあり今回は行いませんでした。
72	法面緑化	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	法面はありませんでした。
73	植栽樹種の選定	☑ 実施した □ 一部実施した	自然環境に恵まれた周辺地域に配慮して常緑樹のシマトネリコ、ソヨゴ 等をアプローチ部分に植樹しました。
水循環	景を確保します。		
74	水資源の有効利用	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	雨水を利用する設備の管理が困難である為、設置しませんでした。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	☑ 実施した □ 一部実施した	事業区域の面積に応じて雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施設を設置しました。(雨水貯留槽266.0㎡)
76	雨水浸透への配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	アプローチ及び消防活動空地に透水性インターロッキング(UNISONラダム)を235㎡使用しました。
)生活環境を保全します。		
大気・	騒音·振動等		
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振動対策を行いました。
78	防音サッシの設置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	騒音測定をした結果、静穏な環境であったため一般サッシとしました。
79	駐車場の配置計画時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画としました。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	ゴミ置場を出来るだけ敷地の中央部に配置し、周辺に配慮した計画としました。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	排出ガス機器は、設置しませんでした。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	屋外照明は近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
83	建築資材による光の影響の考慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建築資材による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。
84	環境に配慮した塗料の使用	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	南千里中学校に対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしました。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)			
86	日照障害対策	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	日照障害については建築基準法に基づき日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明	□ 実施した □ 一部実施した	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲 図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88	電波障害発生時の改善対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	電波障害は生じませんでした。
89	プライバシーの配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	近隣住民のプライバシーを侵害する恐れはありませんでした。
景観まちづくりに貢献します。			
90	地域への調和	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	景観まちづくり計画の目標と方針に基づき計画しました。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計		景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではなかったため。
93	景観形成地区指定の協議		計画区域は1ha を超えないため、景観形成地区の指定については協議不要でした。
94	景観形成基準の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観形成基準を遵守し、周辺環境に配慮した緑地計画と、色彩に配慮した建物としました。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	事業内容に応じ、景観誘導基準・屋外広告物の表示に関する基準に基づき、色彩に配慮した景観まちづくりを推進しました。
安心安全のまちづくりに貢献します。			
96	歩行者が安全に通行できる空間整備	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	計画地南側にプレイロットを設けて歩行者が通行できるようにしました。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	防災倉庫の設置をしました。
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備		防犯カメラ等、防犯対策等に対応出来る設備機器の積極的な導入、安 心安全に配慮した適切な整備を行いました。

